



糸魚川市立糸魚川小学校

学校だより 第4号

令和5年7月21日

TEL:025-552-0042 FAX:025-552-1304 E-mail:itosyo@itoigawa.ed.jp

(H P)<https://www.itoigawa.ed.jp/itosyo/>(携帯)<http://itoigawa.ed.jp/itosyo/otayori/i/>

1学期 73日の終業です 「夢を見る」「言葉にして表現する」

校長 富永 浩文

笹の葉が風に揺れ、かさかさとささめき、大小色とりどりの飾りが陽の光に照らされ、キラキラとひらめきます。わひわひ広場には、ひすいの里の皆さんと一緒に作った七夕飾りが、今年も展示されています。そこには、願い事が書かれたたくさんの短冊が下げられています。自分のこと、友だちや家族、学校のみんな、世界中の人々のことなど願いは様々です。「〇〇がうまくなりますように」「〇〇がほしい、〇〇に会いたい」「友だちと仲良くしたい」「みんなが元気（健康）でいてほしい」「平和で、コロナのない世界になってほしい」。子どもらしい、微笑ましい内容のものから、世相を映し出す、けなげな内容のものまでありました。顔を思い浮かべ一枚一枚読みながら、頬が緩み、心が温かくなりました。それぞれの願いが叶うといいなと思いました。

そのような中で、目についたのは、「みんなが」、「元気で」、「健康で」、「幸せに」、「笑顔に」といった言葉です。この3年間、なかなか先が見えず、不安な生活を送りながらも、常に気に留め、願ってきたことです。春から、新型コロナウィルス感染症の扱いも変わり、これまでほど感染の脅威を感じなくはなってきていますが、やはり、健康でありたい、笑顔でありたいという願いは、どのような状況でも変わりませんね。しかも、自のことではなく、「みんな（家族や学校の仲間、世界中）が」



七夕プロジェクト

というように、周りの人に思いを寄せている願いがたくさんあることに驚きました。思いやりの心が育っているなと感じました。

さて、ミッキーやミニーの生みの親、ウォルト・ディズニーは、「夢見ることができれば、それは実現できる。」と言っています。また、プロ野球で活躍したイチロー選手は、「言葉にして表現することは、目標に近づく一つの方法ではないかな。」と言っています。夢や目標は必ず実現できるかどうかはわかりませんが、夢や目標をもたなければ、あるいは、言葉で表さなければ、それは成し遂げられません。自分自身や自分の周りを見つめ、短冊に夢や願い（目標）を書くことには意味があり、実現のための第一歩なのだと感じます。

子どもたちは、4月から1学期73日間、各学年の学習活動に取り組んできました。学期始めに掲げた目標は実現できたでしょうか。色々な行事の前に立てたまでは達成できたでしょうか。1学期を終了するにあたり、しっかりと振り返りをして、また、夏休みや2学期の目標や願いをしっかりととまって、言葉で表して、実現、達成に向けて取り組んでほしいと思います。

保護者の皆様、地域の皆様には、糸魚川小学校の教育活動に対し、温かいご支援をいただき、ありがとうございました。毎回お話しますが、夏休みも子どもたちに「遊（体を動かして）」「働（人のため、家族のため）」「学（体験活動や読書を含め）」の勧めをよろしくお願ひします。